

## 2019年度 自己評価表

事業者向け

2020年3月31日公開

放課後等デイサービス「子ども支援センターワーク」

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			学習、工作等の訓練スペースは十分確保していると考え る。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			基準以上の配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切に なされているか		○		事業所が2階にあるため階段は存在する。事業所内に段 差はない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り 返り)に、広く職員が参画しているか	○			日常業務に取り入れている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を 実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげて いるか	○			保護者の意見を尊重し、効果のあるプログラムを提供で きるよう、業務改善に務めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で 公開しているか	○			PDF化し、ホームページにて公開中。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につな げているか		○		大学等専門家に我々の事業内容を客観的に見てもらい、 意見をきいている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保してい るか	○			強度行動障害支援者研修に参加するなど、質の向上に 努めている。
適切な支 援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課 題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を 作成しているか	○			モニタリングなどの際、アセスメント用紙を活用して、個 別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセ スメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			学習プログラムは週一回会議を開催し内容を確認し、 SSTプログラムもチームで行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			PDCAサイクルを取り入れ、プログラムの質の向上と効 果を確認している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定 して支援しているか	○			個人別に課題を分析し、時期に合わせた設定で、支援し ている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合 わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別、集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成して いる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる 支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、ミーティングを行い、役割分担、注意事項、保護者 の要望などを確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われ た支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了時に記録し、翌朝、共有すべき情報(気づきの 点)などを職員に伝達している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援 の検証・改善につなげているか	○			支援内容を具体的に記録し、長中期的な支援のための材 料としている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画 の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを計画するとともに、支援の方針を 共有するとともに、個別支援計画の見直しにつなげてい る。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を 行っているか	○			ガイドラインに沿って、基本活動を組み合わせる支援を 行っている。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子ど もの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			今後行われるサービス担当者会議には必ず参加する予 定である。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子ども の下课時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発 生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校との連携は特に重要であり、頻繁に行っている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	対象者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者を通じて、関係施設との情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	対象者なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			子育て関係の助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			浜松科学館等を利用し、交流を行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後の検討課題である。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートを活用し、相互の情報を日々共有するとともに、送迎の際、会話によって、共通の理解に務めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			「ペアレント・トレーニング」の重要性は理解している。相談支援事業に協力を得て行っている。
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
31		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談内容に合わせ、情報の提供などを行っている。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後の検討課題である。
33		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合は、事業所として受け止め、対応できるよう心がけている。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月一回の会報を発行している。
35		個人情報に十分注意しているか	○			個人情報は適切に管理している。
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			十分に時間をかけることを基本とし、ボードを使うなど代替手段を使うこととしている。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	防犯上の問題を解決できれば行いたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを作成し、訓練に活用している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修会等に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	対象者なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	対象者なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	ヒヤリハット事例集を作成準備中。